



都城市は、肉用牛・豚肉・鶏肉の産出額（農林業センサス）が日本一。また、焼酎売上高日本一（帝国データバンク）の酒造メーカーがある。



複合施設「Mallmall」の中でも特に利用者の多い図書館。吹き抜けの空間は、デパートの名残をそのまま活かした。

都城市は、畜産が盛んで、牛・豚・鶏の産出額は全国1位（注2・2016年市町村別農業産出額（畜産））。2018年3月23日農林水産省公表）。焼酎については、日本一の売上高（注3・2017年8月30日発表 帝国データバンク福岡支店発表）全国の焼酎泡盛メーカーの2016年売上高ランキング）を誇る酒造メーカーがあるなど、P.R.に活用させてもらった。

ふるさと納税を通じて都城市のことを知つてもらうことが目的であり、寄附金を集めることで第1回目のPRとして、件数が多いほうが多いとされるんです。寄附金を多く集めることが第一義的目的ではないが、結果的に日本になら分かりやすい上に対象は多岐にわたります。都城市は畜産が盛んで、牛・豚・鶏の産出額は全国1位（注2・2016年市町村別農業産出額（畜産））。2018年3月23日農林水産省公表）。焼酎については、日本一の売上高（注3・2017年8月30日発表 帝国データバンク福岡支店発表）全国の焼酎泡盛メーカーの2016年売上高ランキング）を誇る酒造メーカーがあるなど、P.R.に活用させてもらった。

P.R.という観点からは、日本には大きな意味があり、2位では意味がないのだ。

見直し後から1年半の間は、返礼品を肉と焼酎に統一したが、28年度以降、地場産業の振興という観点から、要件を緩和して今では90社ほどの事業主と手を組んでいる。事業主はすべて地元の事業主に限定した。「ふるさと納税は『外貨獲得』でもあります。市外の方から寄附をいただき、100%地元に還元する」という仕組みを取りました。

もう一つ、注目すべきことがある。ふるさと納税に携わった職員を中心に、市役所職員たちの意識に変化が表れた。「民間企業なら売り上げを気にするのは当然ですが、役所は数字」が出るような仕事は少ない。その中でもふるさと納税は結果が数字に表れます。目に見えて寄附件数が増えると職員にもやりがいが生まれます」。ふる

## 「都城＝肉と焼酎」 それが成功のカギ

私は都城のPR材料を「肉と焼酎」に限定しました。市役所としては、市の特産品を平等に扱おうとします。都城は伝統工芸品の竹弓と木刀の全国有数の産地ですが、対象が狭い。でも、返礼品が「肉と焼酎」なら分かりやすい上に対象は多岐にわたります。都城市は畜産が盛んで、牛・豚・鶏の産出額は全国1位（注2・2016年市町村別農業産出額（畜産））。2018年3月23日農林水産省公表）。焼酎については、日本一の売上高（注3・2017年8月30日発表 帝国データバンク福岡支店発表）全国の焼酎泡盛メーカーの2016年売上高ランキング）を誇る酒造メーカーがあるなど、P.R.に活用させてもらった。

ふるさと納税を通じて都城市のことを知つてもらうことが目的であり、寄附金を集めることで第1回目のPRとして、件数が多いほうが多いとされるんです。寄附金を多く集めることが第一義的目的ではないが、結果的に日本になら分かりやすい上に対象は多岐にわたります。都城市は畜産が盛んで、牛・豚・鶏の産出額は全国1位（注2・2016年市町村別農業産出額（畜産））。2018年3月23日農林水産省公表）。焼酎については、日本一の売上高（注3・2017年8月30日発表 帝国データバンク福岡支店発表）全国の焼酎泡盛メーカーの2016年売上高ランキング）を誇る酒造メーカーがあるなど、P.R.に活用させてもらった。

P.R.という観点からは、日本には大きな意味があり、2位では意味がないのだ。

見直し後から1年半の間は、返礼品を肉と焼酎に統一したが、28年度以降、地場産業の振興という観点から、要件を緩和して今では90社ほどの事業主と手を組んでいる。事業主はすべて地元の事業主に限定した。「ふるさと納税は『外貨獲得』でもあります。市外の方から寄附をいただき、100%地元に還元する」という仕組みを取りました。

もう一つ、注目すべきことがある。ふるさと納税に携わった職員を中心に、市役所職員たちの意識に変化が表れた。「民間企業なら売り上げを気にするのは当然ですが、役所は数字」が出るような仕事は少ない。その中でもふるさと納税は結果が数字に表れます。目に見えて寄附件数が増えると職員にもやりがいが生まれます」。ふる

## 街の空気を活性化させて スマイルシティ都城へ

さと納税は、職員の意識改革の部分にも寄与している。池田市長によると、「ふるさと納税は、①P.R.②地域経済の活性化③市の収入増④職員の意識が変わる」と実際に「石四鳥」の効果があった。

さと納税は、職員の意識改革の部分にも寄与している。池田市長によると、「ふるさと納税は、①P.R.②地域経済の活性化③市の収入増④職員の意識が変わる」と実際に「石四鳥」の効果があった。

今、都城市で話題沸騰中のスポットがある。今年4月にオープンした、図書館・子育て世代活動支援センター・交流センターなどを集約した複合施設「Mallmall（まるまる）」だ。オープンからわずか1ヶ月半で施設全体の来館者数は30万人を突破。そのうち図書館が約18万人。旧図書館の利用者が年間17万人だったことと比べると驚くべき数字だ。Mallmallは倒産した老舗百貨店をリノベーションしているが、この百貨店の活用は市長就任当初からの課題だった。「百貨店跡地に再びショッピングモールをつくるのではなく、違う形の空間をつくりたいと思いました。旧図書館は古くて狭かったので、図書館をリニューアルすると市民が喜ぶのではないか」と思つたんです」。

図書館を手掛けるにあたり、池田市長が最初に決めたことは、ターゲットを女性に絞ること。ふるさと納税と同様、焦点を絞らずにプロジェクトを進めると結果がついてこないという考え方がある。また、すべての施設を屋根でつなぐことも提案した。これは、雨天時にバービーカーを押したり、利用者が、雨に濡れないように駐車場と施設の間を行き来できるようにするためだ。図書館内の設計やディスプレイのアイデアの改修工事はすべて地元の事業者が行つた。「自治体が新しいことをやるときは、アイデアはプロの力を借りて、工事は地元の事業者に任せること」。これが「一つの理想型」。

**行政の常識を打ち破り、大胆にチャレンジする。  
都城市を活性化させていく。**



みやこのじょう  
宮崎県都城市

市長 池田宜永さん

昭和46年4月7日生まれ。九大卒、東大院修了。平成6年大蔵省入省。外務省在オーストラリア大使館の書記官を務めた後、平成19年に都城市副市長に就任。平成24年に都城市長に就任し、現在に至る。

市長就任後、大きなチャレンジとして、平成26年10月にふるさと納税の見直しを図ったが、その背景にはこんな出来事があった。「出張で訪れた東京のある役所で、都城のことを『とじょう市』と言われたんです」。都城市のことを知っている人は「みやこのじょう」と読めるが、知らない人は「とじょう」と読むのも仕方がないとのとき思った。まだ知名度が低い状況の中で、どうやって都城市を知つもらつか。池田市長が導き出した戦略は、「ふるさと納税をP.R.のツールとして活用すること」。池田市長の就任前にもふるさと納税は行われていたが、特にアピールすることもなく、年間10～20名ほどが合計300～500万円ほど寄附し、抽選で数名に返礼品を贈るなどいうものだった。では、池田市長はどのような戦略を立てたのか。

斬新で豊かな発想力を持つ池田市長は、講演に呼ばれることも多く、その際の講演タイトルは「自治体も経営する時代」だ。「数字の見える化」など民間で当たり前にに行っていることを自治体に取り入れる。そうすると化学反応が起こり、良い方向に効果が表れるんです」。事実、市役所職員たちから市政にまつわるさまざまなアイデアが飛び交うようになった。

池田市長が掲げる市政のキーワードは、「スマイルシティ」。都城市を笑顔あふれる元気な街として盛り上げていきたいと考えている。「街も人も『気』が大切。熱気のある街は市民も元気だし、市民が元気だと街も熱気があふれていると言えます」。今後も、池田市長の熱の入った市政により、都城市の空気を活性化させて、市民に元気と笑顔をもたらすだろう。

## 市のP.R.ツールとして ふるさと納税を活用

ふるさと納税の寄附額（注1・2017年7月4日総務省発表）が2年連続で日本一に輝き、「躍有名」になった自治体がある。宮崎県と鹿児島県の県境にある宮崎県都城市だ。この成功的な背景には、一体どんな戦略があつたのか。都城市長、

池田宜永氏が執つた政策に迫る。

### DATA

#### 宮崎県都城市 ふるさと産業推進局

TEL: 0986-23-2452

住所 宮崎県都城市姫城町6街区21号

URL <https://furusato-miyakonojo.jp/>

都城市 ふるさと納税

